

生田緑地マネジメント会議ニュースレター

「生田緑地マネジメント会議」の内容をお知らせします。

平成30年度全体会の報告

平成31年3月28日(木)18:00~20:00 生田緑地東口ビジターセンターにて平成31年度全体会が開催されました。第1部は、川崎市へ「生田緑地の入口の名称について」の提言がなされました。第2部は、「生田緑地の自然と文化を享受し、公園を気持ちよく過ごすために、市民には何ができるのか」をテーマにグループワークを行いました。

第1部

○議案1

生田緑地マネジメント会議役員改選・自然環境保全管理会議役員改選の報告について

○議案2

生田緑地の入口の名称についての提言について

○川崎市への提言

「生田緑地の入口の名称についての提言」

第2部

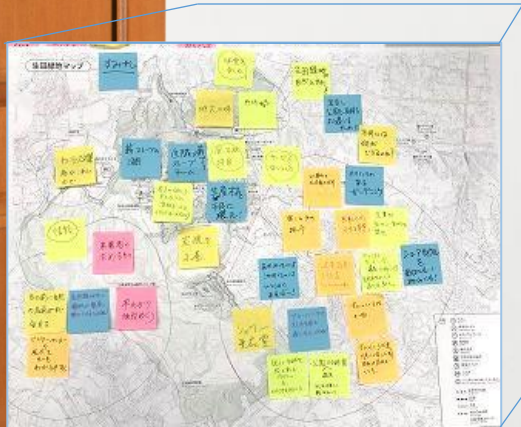
グループワーク



倉本会長から磯田緑政部長への提言書を渡す様子

第2部グループワークの様子

「生田緑地の自然と文化を享受し、公園を気持ちよく過ごすために、市民には何ができるのか」



3グループから様々なアイデアが出されました
事務局でまとめ、来年度の運営に役立てて行くこととなりました
詳細は次号でご紹介します

生田緑地の入口の名称についての提言書

川崎市長 福田 紀彦 様

平素より、生田緑地マネジメント会議の活動にご尽力頂きまして、誠にありがとうございます。

生田緑地マネジメント会議では平成28年12月に、生田緑地に約30箇所ある入口の名称を「おもてなしプロジェクト」で内容を検討することに決定しました。

生田緑地の入口に名称を付ける必要があるという意見は、平成17年に作成された「生田緑地整備基本計画書」にもその一部が提案として記載されていました。その後、生田緑地マネジメント会議の前身のひとつである生田緑地管理運営協議会の「高める部会」でも平成20年に「生田緑地の15口」として認識されましたが、名称を付けるには至りませんでした。しかしながら、入口の名称は、都市公園にあっては来園者の方々の位置情報としても、更には管理上・防災上も必要です。平成25年に生田緑地マネジメント会議が設立され、「市に対して提言を行う機能を有する」こととなりましたので、11年ぶりに「おもてなしプロジェクト」で検討することといたしました。

プロジェクトは3年間計9回(内2回は現地調査)開催され、熱心な議論が展開されました。途中の経過では、全ての入口に名称を付ける案も検討されましたが、生田緑地の特殊な条件も考慮して、更に運営会議で提案された現地調査などの結果から必要があり支障がないと判断される入口に限定することとしました。

なお生田緑地東地区(東生田2丁目、ばら苑周辺及び向ヶ丘遊園跡地部分)につきましては、小田急電鉄株式会社が平成30年11月に向ヶ丘遊園跡地利用計画を発表したこともあり、今後入口などの変更もあり得ることが予想されるため、今回の検討の対象からは外し、今後の検討に委ねることとしました。また、ゴルフ場地区につきましても、検討を継続することとしました。

生田緑地マネジメント会議では、これからも生田緑地でのよりよくなることを目指すため、プロジェクトや運営会議にて検討を進めてまいります。

添付資料

1. 「生田緑地入口の名称」一覧
2. 「生田緑地入口の名称」地図
3. プロジェクト会議案の経緯
4. ニュースレター
5. おもてなしプロジェクトメンバー名簿

平成31年(2019年)3月28日
生田緑地マネジメント会議
会長 倉本 宣